

第 35 回日本環境感染学会総会・学術集会開催のお知らせ（第 5 報）

第 35 回日本環境感染学会総会・学術集会

会 長 金光 敬二

福島県立医科大学 感染制御学講座

副会長 菅原 えりさ

東京医療保健大学大学院 医療保健学研究所 感染制御学

プログラム委員長 吉田 正樹

東京慈恵会医科大学 感染制御部

第 35 回日本環境感染学会総会・学術集会を「わ」をテーマとして横浜市において開催いたします。感染症の制御に関わる医師，看護師，薬剤師および臨床検査技師など多くの方々のご参加をお待ちしております。

【第 35 回日本環境感染学会総会・学術集会 開催概要】

※事前参加登録は終了いたしました。多数のお申し込みをいただきありがとうございました。事前参加登録をされていない方は、当日の参加受付にてお申込みください（参加費 12,000 円）。
※宿泊予約をホームページより受け付けております。1 月 31 日（金）が締め切りとなります。

1. 総会ホームページ： <http://www.congre.co.jp/35jsipc/>
2. 会 期：2020 年 2 月 14 日（金）～15 日（土）
3. 会 場：パシフィコ横浜（<https://www.pacifico.co.jp/>）
4. 学術プログラム（1 月 6 日現在 変更する場合があります）
 - 会長講演
 - 会長・副会長企画 「『わ』のシンポジウム」
 - 招請講演 「バクテリアが飢餓環境中でコロニーを作らなくなるのはなぜか？」
 - 特別企画 「炭鉱のカナリア～ボーダーレス化する感染症に日本の医療従事者はどう立ち向かうべきか～」
 - シンポジウム 「薬剤耐性（AMR）アクションプランの進捗，そして今後何を行うべきか」
「根拠に基づく医療環境対策の実践と最新の知見」
「医療関係者のためのワクチンガイドライン改訂に向けて」
「アウトブレイク事例から学ぶ～対策の見直し」
「感染管理と迅速検査」
「術後合併症アセスメントのコツ」
「サーベイランスの現在と未来」
「人工呼吸器関連イベントの基礎から実践まで」
「CRE の検査と感染対策はどこまで必要か」
「PK/PD に基づいた感染症治療の基本と実践」

- 「TDMにおけるピットフォール」
- 「施設特性と手指衛生活動の実際～遵守率向上のための課題と対応～」
- 「効果的な ICT/AST ラウンドをするために」
- 「ノロウイルスの予防対策～アウトブレイクを起こさないために～」
- 「結核の院内感染対策に役立つ tips」
- 「インフルエンザ対策～どこまでやったら安全？安心？～」
- 「C.difficile 感染対策」
- 「看護師に必要なわかりやすい微生物検査，看護師に知ってほしい微生物検査の基礎，看護師に知ってほしい微生物検査～検体採取・検査・結果の解釈～」
- 「次世代の感染管理担当者：その発掘・養成・教育」
- 「NICU の感染対策の課題と戦略」
- 「感染対策 それぞれのピットフォール」
- 「ICN に必要な抗菌薬の基礎知識」
- 「医療従事者」
- パネルディスカッション 「次の AMR アクションプランにむけて，抗菌薬適正使用の指標と目標の設定をどうすべきか」
- Meet the Expert 「性感染症の現況と問題点」
- 「無症候性細菌尿」
- 「泌尿器科医が考える CAUTI への対応」
- 「一般病棟における MRSA 伝播防止～ベッドサイドケアに着目して～」
- 「外部委託職員と協働して行う環境衛生」
- 「臨床的脈絡の中で考える空気感染対策」
- 「医療環境と感染対策～新病院建設に向けて感染対策を可能にする設備を ICN として考えること～」
- 「市中型耐性菌と感染制御～耐性と病原性を獲得した危険な細菌～」
- 「AST における薬剤師の介入の実際：抗真菌薬」
- 「ICT/AST で薬剤師が力を発揮するためには？」
- 「手指衛生コンプライアンスを高めよう」
- 「迅速検査の解釈と限界 (infl, adeno, myco, CD 等)」
- 「ノロウイルスの感染対策」
- 「口腔ケアにおける感染対策」
- 「周術期感染対策ガイドラインの解説」
- 「効果的な ICT ラウンド」
- 「事例から学ぶ抗 MRSA 薬の使い分け：新薬から内服まで」
- 「施設・病院におけるインフルエンザ伝播防止対策」
- 「グラム染色で何がわかるか」
- 「疫学検査の意味と役割 (POT 法を中心に)」
- 「令和時代に求められる感染対策～文化として，サイエンスとして～」
- 「東京オリンピック・パラリンピックに備えて」
- 「NICU における感染対策～NICU 勤務経験がない ICN の立場から～」
- 「妊婦や褥婦への抗菌薬投与に当たっての注意点」

My Favorite Papers	「『透析室の感染対策のポイント』透析クリニックラウンドの報告」 感染対策に関わる最新の情報の共有を目的として、My Favorite Papers を供覧します。医師，看護師，薬剤師，検査技師のそれぞれの視点で、2018年以降の国内外の報告をご紹介します。
ワークショップ	「注目したい最近の学術論文」 「PPEの実演会」 「病院歯科の感染予防対策とその役割」 「薬剤耐性菌対策上のピットフォールを知る」 「抗菌薬適正使用支援プログラムにおける看護師の役割」 「米国医療疫学学会（SHEA）・日本環境感染学会（JSIPC）連携協定記念シンポジウム」
多剤耐性菌制御委員会企画シンポジウム	
日本環境感染学会とAPICのジョイントプログラム	
JHAIS委員会企画シンポジウム	「サーベイランス・あなたの番です」
教育委員会講習会	「あなたの病院にもアウトブレイクがやってくる：生放送中」
災害時感染制御検討委員会企画シンポジウム	「災害時感染制御支援チーム（DICT）の最新動向～活動要綱とロールモデル～」
東京2020大会対策委員会（アドホック委員会）企画	「医療機関での輸入感染症対策～マスキングに備える～」
医療環境委員会企画	「医療環境を介した真菌感染対策」
日本外科感染症学会との合同企画	「外科医の考えを知って、一緒に取り組む感染対策」
日本環境感染学会・職業感染制御研究会との合同企画	「職業感染管理に役立つ針刺し切創，血液・体液ばく露サーベイランス最新情報」
日本救急医学会との合同企画	「『救急外来部門における感染対策』の標準化に挑む2020～東京2020に向けて～」
精神科領域の感染制御を考える会との合同企画	「精神科領域の感染制御からの情報発信」
ICD講習会	「こんな時どうする？～求められるICTの対応力～」

他，一般演題（口演，ポスター）など詳しくは総会ホームページをご参照ください。

5. 企業展示

パシフィコ横浜展示ホール A・B で開催いたします。

6. 参加登録について

事前参加登録は終了いたしました。なお，当日参加費は12,000円となります。

※学部学生の登録は無料です。

7. 宿泊のご案内

1月31日（金）まで総会ホームページよりお申込みいただけます。

8. 会員懇親会

日時：2020年2月14日（金）17：00～18：30

場所：ヨコハマ グランド インターコンチネンタルホテル ボールルーム/バイビュー

当日参加費：2,000円

9. お問い合わせ先

第35回日本環境感染学会総会・学術集会事務局

事務局長 仲村 究

〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地

福島県立医科大学 感染制御学講座

第 35 回日本環境感染学会総会・学術集会 運営事務局

株式会社コングレ 東北支社

〒980-0811 仙台市青葉区一番町 4-6-1 仙台第一生命タワービルディング

TEL : 022-723-3211 FAX : 022-723-3210

E-mail : jsipc35@congre.co.jp